



トップス広島 事務局  
 〒734-0007  
 広島市南区皆実町2-8-42  
 猫田記念体育館1F  
 TEL: 082-254-2012  
 FAX: 082-251-5712  
 URL: www.tops-h.net/

このQRコードから  
 公式Webサイトへ  
 アクセスできます。



## 今後への糧に

2月2日(日)、大阪市港区の丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)で開催された「第65回全日本インドアソフトテニス選手権大会」にて、船水・広岡ペアが3位入賞を収めた。

一方、長江・丸中ペアは4-0、村上・林ペアは4-1と相手を圧倒し、安定したプレーで初戦を勝利した。しかし、お互い2戦目の試合、健闘するも苦戦を強いられ、敗れてしまい予選リーグ敗退となった。

決勝をかけた船水・広岡ペアの試合は、予選リーグで相手の棄権により一試合しかできなかった影響か、厳しい展開のまま流れをつかむことができず敗れてしまった。

優勝することができず悔しい結果となってしまったが、日本リーグ10連覇の勢いそのまま、さらなる選手、チームの進化に期待したい。



船水・広岡ペア



サンフレッチェ広島

## 最高のシーズンスタート

2020シーズン最初の公式戦 YBC ルヴァンカップでは、横浜FC相手にFWドウグラス・ヴィエイラ選手、FWレアンドロ・ペレイラ選手のゴールで2-0と勝利し、続く明治安田生命J1リーグ開幕戦では、ホームに鹿島アントラーズを迎えた。立ち上がりこそ、鹿島の迫力のあるプレスの前に押し込まれる形となったが、ここをこれまで築き上げてきた、粘り強い守備から無失点で切り抜けると、前半20分、今季新たに取り組んでいる、前線からの積極的な守備からFWドウグラス・ヴィエイラ選手が先制点を奪うと、続く前半25分、今度は最終ラインからしっかりとボールをつないで、相手を崩し、FWレアンドロ・ペレイラ選手が追加点を奪った。後半、鹿島は選手交代など、さらに圧力をかけてきたが集中した守備で相手に決定機を与えず、逆に、後半84分、交代出場のMF東俊希選手が前線で相手ボールを奪うと、そこからMF森島司選手がゴールを決め3-0で快勝しシーズン最高のスタートを切った。

この開幕からの2試合のなかで、これまで積み上げてきた粘り強い守備から、2試合をしっかりと無失点での勝利を収めるだけでなく、2試合で上げた5得点のうち、昨年より取り組んだ、しっかりと最終ラインからボールをつなぎ、相手を崩す形で2得点。そして、新たにキャンプから取り組んできた前線からの積極的な守備と縦に早いショートカウンターから3得点と、今季はさらに新たな武器を身に付けた。

新スローガン「積攻」の通り、これまでの成果のすべてを積み上げて戦う、サンフレッチェ広島の戦いに期待したい。



©2020 S.F.C

得点后、喜び合う選手たち



## 選手の日常にせまる

2月14日、コカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアム(安佐北区毛木)において、練習風景を取材した。選手は普段15時まで業務、その後バス移動、16時20分にスタジアムへ到着し練習の準備を進めていた。

取材中、実際にホッケーを体験したが、止まっているボールを上手に打つことでさえ難しく感じた。それを巧みに打ち、ドリブルする選手のレベルの高さやスピード感を実感した。日頃の練習において高い技術を習得していると取材を通して知ることが出来た。

最後に、取材の中でいくつか気になる質問を主将の金藤選手に聞いてみた。

Q1 ホッケーの魅力とは?

A. ホッケーの魅力はズバリ、スピード感です。試合展開の速さは、プレーする側も、そして観客も一体となって楽しめます。

Q2 チームの強み、特色は?

A. レッドスパークスはそれぞれが個性を発揮し、それが集結することで大きな力となります。特色としてはパスホッケーです。パスで相手を崩しながら得点に繋げていく事です。

Q3 チームで心掛けていることは?

A. 個性が強い選手が集まっているため、それぞれに意見がありますし、プレースタイルが違います。しかし試合において一つにならなければいけない限り、バラバラになることは出来ません。常に意見を交換するミーティングを開き、共通意識の共有を心掛けています。

今回の取材を経て、仕事とホッケーの両立をする選手の姿に触れることが出来た。この記事をきっかけにコカ・コーラレッドスパークスホッケー部に興味を持つ人が増えることを期待したい。

挨拶する選手



連携を取りながら練習



## バドミントンを通じて被災地を元気に

参加者全員との記念写真

2月11日(火)、安芸区スポーツセンターで、西日本豪雨災害復興支援事業として、小・中・高校生を対象にバドミントン教室が開催された。

参加した子供たちはほとんどがバドミントン経験者で、広島ガスの選手に基礎から順に高度な技術までを教わった。特に選手からアドバイスを受けた苦手なところを補う練習には、的確な練習方法を行っていた。今回参加した広島国際学院高校バドミントン部は、「めったにない機会でも貴重な経験になった」、「今後のバドミントン生活に生かしたい」などと話してくれた。2018年(平成30年)に起きた西日本豪雨災害だが、広島ガスバドミントン部の拠点近くで起こったこともあり、少しでも恩返しをしたいという気持ちからこのイベントを開催した。

今後も広島に少しでも明るい話題を提供できるように、活動をしていく。



講習会の様子



## やってみよう!ハンドボール!

2月11日中区スポーツセンター主催の「やってみよう!ハンドボール教室」が開催され、イズミメイプルレッズの板野陽選手、中西麻由香選手、高森妙子コーチ、大前典子コーチが指導にあたった。小学1年生から中学生までの50人近くが参加し、開会式の前にはイズミメイプルレッズのチーム紹介、試合の映像などをまとめた動画を参加者たちは真剣な目で見ている。板野選手、中西選手が登場した際には参加者の子どもたちから拍手で迎えられていた。参加した子ども達のほとんどがハンドボールの経験がなかったが、スタッフ、選手のアドバイスによってハンドボールの基礎であるパスやドリブル、シュートを習得した。パスの練習では、投げる時のコツやキャッチの仕方などを2人の選手がアドバイスをしていた。シュート練習ではGKの板野選手が、試合さながらのシュートセーブを見せて会場をわかせていた。一通り基礎練習を終えるとチームに別れてミニゲームが行われた。子どもたちは終始笑顔でプレーし、シュートが決まった際には観客席にいる保護者の方たちの暖かい拍手が沸き起こっていた。「今日楽しかった人!」と子どもたちに尋ねると全員が「今日楽しかった!」と手をあげ、主催者側参加者側ともに充実したイベントになっていた。



活発にミニゲーム中



広島東洋カープ

## リーグ優勝奪還へ!!

2月16日から始まった今年のオープン戦だが、コロナウイルスの影響により無観客試合となった。選手や関係者、メディアしか球場に入ることができないが、多くの期待できる選手が活躍している。

まず2019年のドラフト会議で1位指名された森下暢仁投手だ。最速155キロのストレートと緩急をつけたカーブとチェンジアップなどの多彩な変化球を持ち、コントロールも兼ね備える期待のルーキーである。3月8日の西武戦で先発登板し、5回3安打無失点に抑える好投を見せた。次にカープの主砲鈴木誠也外野手だ。2019年はセ・リーグで首位打者と最高出塁率のタイトルを獲得した。さらに、外野の守備で見せる強肩やファインプレーで、ゴールデングラブ賞を獲得した。この打撃力と守備力が評価され、ベストナインにも選出された。昨年以上のような活躍に期待したい。今年は監督が投手出身の佐々岡真司氏に変わり、投手力の向上が期待されている。再びリーグ優勝に向けて頑張ってもらいたい。



期待の森下投手



JTサンダーズ広島

## ファイナルステージでの激戦

2月23日に地元エフピコアリーナふくやまにVファイナルステージ4位決定戦JTサンダーズ広島VS前日勝ち上がったサントリーサンバーズの試合が行われた。地元広島での開催でもあり、多くのファンが観戦に訪れた。

試合は第1セットから手に汗握る展開となったが、JT広島の陳選手のアタックが決まり第1セットを先取した。第2、3セットはサントリーサンバーズの勢いそのままに、セットを連取された。続く、第4セットもセットを取られ3-1で惜しくも敗れた。

JTサンダーズ広島は今シーズン最終順位の4位が確定した。この悔しい思いを来シーズンぶつけて優勝してほしいとファンは願っている。

試合会場周辺では、地元名産のお菓子や、JTサンダーズ自慢の「JTサンダーズどら焼き」などのグルメや、Vリーグオフィシャルショップなど、会場でしか買えない限定商品など数多く並んでいて、県外のファンの方々にも楽しんで頂けるイベントや催しものがたくさんあった。

2月29日(土)をもって2019-20 V.LEAGUE DIVISION1の全日程が終了した。各個人賞が発表され、小野寺太志選手がスパイク賞・ブロック賞(ともに初受賞)・ベスト6(2年連続2回目)を受賞した。スパイク賞は日本新記録決定率を樹立した。日本代表で活躍中の小野寺選手のオリンピックに向けての活躍に期待したい。



白熱した試合

## エネルギーランナーズスクールin山口

2月22日(土)、山口県山口市の維新みらいふスタジアム(維新百年記念公園陸上競技場)で小学生から中学生までを対象に「エネルギーランナーズスクール in 山口」が開催された。このスクールは、社会貢献活動の一環として実際にニューイヤー駅伝でも活躍した、中国電力陸上競技部の選手が、子どもたちに走る楽しさや喜びを実感してもらうために、2004年度から行っている。

当日は「小学1、2、3年生」、「小学4、5、6年生」、「中学生」と3つのコースに分かれて行われた。「小学1、2、3年生」コースでは「ネコとネズミ」ゲームなどを行い、反射能力を鍛えながら走る楽しさを学び、この日1日楽しい思い出を作ることができた。「小学4、5、6年生」、「中学生」コースでは、ミニ駅伝などを行い、選手と直接対決で、より身近に選手のすごさを感じた。

走る楽しさ、駅伝の面白さ、チームで協力することの楽しさなどを学び、子どもたちにとってたくさんの貴重な体験となった。この貴重な体験が将来オリンピック選手への大きな第一歩かもしれない。



## ハンドボール指導で将来選手に!?

2月19日(水)、広島県内にある倉掛小学校にて、原選手・田中選手・阿部選手の3名の選手によるハンドボール指導が行われた。ハンドボールに触れたことがない児童も、選手達の指導を通して、ハンドボールの面白さ、体の使い方などハンドボールの魅力を感じる機会となっていた。将来、この中から一人でも多くのハンドボール選手が生まれる事を願っている。

## 来季の湧永レオリックに期待!!

2月から第44回日本ハンドボールリーグが再開された。2月8日(土)、広島県中区スポーツセンターで行われたトヨタ自動車東日本との一戦では、1点差をものにすることができ、勝利をつかみ取ることができた。2月11日(火)では、山口県キンビバレッジ周南総合スポーツセンターで行われた大同特殊鋼との一戦では惜しくも1点差で敗れた。

今季のシーズンは終了してしまっただが、来季のシーズンはまた一段と変わった湧永レオリックに期待したい。



白熱した試合

## 4月1日から広島ドラゴンフライズ加盟



NPO法人 トップス広島に4月1日から広島ドラゴンフライズが加盟した。広島ドラゴンフライズの加盟により、トップス広島は9競技10チームになった。

より一層、広島の「スポーツを通じた社会貢献」の活性化が期待される。



### ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。